



「ドキドキわくわくお話の世界」



図書館がおすすめするブックリスト

Ⅰ なつのおわりに読んでみたい絵本たち

(1) なんでもないなつの日「夏のタぐれ」(E／ラ※)

ウォルター・デ・ラ・メア／詩

カロリーナ・ラベイ／絵

海後礼子／訳 岩崎書店 2016年7月

たいしょうねんれい：小さいおともだち

⇒とあるまきばのゆうぐれ。なつももうおわり。あきはすぐそこまで、きているよ。

※(E／ラ)は、としょかんでつかっているきごうで、<sup>イー</sup>Eはえほん、ラはラベイさんが<sup>えが</sup>絵を描いているというしみだよ。としょかんでさがすときにつかうから、としょかんのひとにきいてみてね。

(2) ゆうやけにとけていく (E／ザキ)

ザ・キャビンカンパニー／著 小学館 2023年7月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

⇒きんいろのゆうぐれどき。きせつはなつからあき、さらにふゆへ…。まちのけしきとたのしもう。

(3) おっきょちゃんとかっぱ (E／フ)

長谷川摂子／文

降矢奈々／絵 福音館書店 1994年9月

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

⇒「おっきょちゃん」とかっぱの「ガータロ」のふしぎななつのおはなし。かっぱのおまつりにまねかれたが、かっぱのたべものをたべると…。

(4) なつのいちにち (E／ハ)

はたこうしろう／作 偕成社 2004年7月

たいしょうねんれい：小さいおともだち

⇒ぼくがひとりでクワガタをつかまえる！カラフルではっきりとした<sup>えが</sup>絵がいきいきとしたなつっぽくてたのしいね！



(5) まほうの夏 (E／ハ)

藤原一枝・はたこうしろう／作

はたこうしろう／絵 岩崎書店 2002年5月

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

⇒おとうさんもおかあさんもおしごと。まいにちがつまらない。そんなとき  
いなかのおじさんからはがきが…。ぼくたちのなつやすみはまだまだこ  
れからだ！！

(6) 夏 (E／アベ)

あべ弘士／作 ほるぷ書店 2023年7月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

⇒あしたでなつやすみがおわっちゃう。でもぼくにはやりのこしたことが  
あるんだ…。

(7) なっちゃんになつ (E／カ)

伊藤比呂美／文

片山健／絵 福音館書店 2003年9月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

⇒せみのぬけがらもみかけなくなった，でもよくはれた，なつのあるひ。  
なっちゃんはひとりで，かわらにでかけた。しぜんいっぱいの中にある  
くと…。

(8) すなのたね (E／ド)

シビル・ドラクロワ／作

石津ちひろ／訳 講談社 2018年7月

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

⇒なつやすみはもうおしまい。さっきうみからかえってきたばかり。  
サンダルからこぼれたすなつぶをまいてみると…。

(9) のらいぬ (E／タ)

谷内こうた／作 至光社 1980年

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

⇒あついひにすなやまでみつけたともだち。しずかなすなはまであった，  
できごと。かぜのおとがきこえてきそうな絵本だよ。

(10) ふたりだけのとっておきのいちにち (E／コ)

ヘレン・ダンモア／作

レベッカ・コップ／絵

三辺律子／訳 文溪堂 2013年3月

たいしょうねんれい：高学年のおともだち

⇒なつをうみですごすロビーとリンはおうちにかえりたくない。小さな  
ふねにかくれていたけど，うみの水がみちてきて，ふねはおきへ…。

2 なつはまだ終わらない。終わらせない。ずっとなつを感じたいおともだちに

(1) ウェズレーの国 (E／ホ)

ポール・フライシュマン／作

ケビン・ホークス／絵

千葉茂樹／訳 あすなろ書房 1999年6月

たいしょうねんれい：高学年のおともだち

➡じゅうけんきゅうで、ぼくだけのぶんめいをつくるんだ！ぼくのくにへようこそ！

(2) くるまにのって (E／オカ)

岡本雄司／作 福音館書店 2023年4月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

➡くるまにのって、おばあちゃんのおうちにいこう！どんなみちをとおっていくんだろう？

(3) うみべのハリー (E／グ)

ジーン・ジオン／文

マーガレット・ブロイ・グレアム／絵

渡辺茂夫／訳 福音館書店 1967年6月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

➡いぬのハリーはうみへ。おひさまがあついから、ひかげにはいりたいだけなんだけど。なみうちぎわでなみをかぶると、かいそうがからだにかぶさって…。

(4) ともだちやもんな、ぼくら (E／フ)

くすのきしげのり／作

福田岩緒／絵 えほんの杜 2011年5月

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

➡カミナリじいさんのいえのきにカブトムシが。とろうとしたらカミナリじいさんにおこられてしまった。にげようとしたけれど、ともだちのヒデトシがころんでつかまってしまった。

(5) トマトさん (E／タ)

田中清代／作 福音館書店 2006年7月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

➡あついひ、トマトさんはほんとうはおよぎたいけれど、おもくておよげない。だからトマトさんはおよぐのなんかみっともないといってしまうけれど…。

(6) はちうえはぼくにまかせて (E／グ)

ジーン・ジオン／文

マーガレット・ブロイ・グレアム／絵

森比左志／訳 ペンギン社 1981年8月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

➡ぱぱがいそがしいので、トミーはなつやすみでもどこへもいかない。

だから1にち2セントできんじょのはちうえをあずかります。

(7) つかまえた (E／タ)

田島征三／作 偕成社 2020年7月

たいしょうねんれい：低学年のおともだち

➡ぼくはおおきなさかなをつかまえる。にがすもんか！ぼくのさかな！

(8) はかせのふしぎなプール (E／ナ)

中村至男／作 福音館書店 2015年9月

たいしょうねんれい：小さいおともだち

➡なんでもおおきくなるプールだよ。はかせがつぎつぎとへんなものをおおきくするから、じょしゅはたいへん！

(9) すばらしいとき (E／マ)

ロバート・マックロスキー／文・絵

渡辺茂夫／訳 福音館書店 1978年7月

たいしょうねんれい：高学年のおともだち

➡アメリカのしまでなつをすごす、かぞくのおはなし。すばらしいしぜんていろいろなけいけんをするよ。ふねにものる。あらしにもあうけれど…。

(10) 漂流物 (E／ウ)

デイヴィッド・ウィーズナー／作 BL出版 2007年5月

たいしょうねんれい：高学年のおともだち

➡ぶんしょうのないえほん。うみにはいろいろなものがながれているけれど、ひょっとしたらこんなせかいがひろがっているのかもね。

(11) 森のずかん (460／マ)

松岡達英／作 福音館書店 1982年6月

たいしょうねんれい：中学年のおともだち

➡もりでキャンプだ！むしもいればモモンガにもであう。もりにはいろいろないきものがいるよ。



(12) 海のアトリエ (E/ホ)

堀川理万子／作 偕成社 2021年5月

たいしょうねんれい：高学年のおともだち

➡いやなことがあってがっこうにいけなかったわたし。なつやすみもいえにとじこもっていたけれど、うみべのアトリエにあそびにいくと…。

